

## 平成23年度国際インターンシップ体験記

東北大学大学院 工学研究科 機械システムデザイン工学専攻 圓山・小宮・岡島研究室 庄司衛太

指導教員: 圓山 重直 教授

研究課題: 大型位相シフト干渉計を用いた熱流動場の精密計測と解析

派遣期間: 平成22年9月4日～10月15日

派遣機関: The University of Sydney

受入研究者: Prof. Masud Behnia

私は平成23年9月4日から平成23年10月15日までの約1ヶ月半の間、オーストラリアのシドニーにあるシドニー大学にてインターンシップを行いました。シドニーはオーストラリア南東部に位置しており、オーストラリア最大の人口を有し、南半球最大の都市といわれています。

訪れたシドニー大学は1850年にオーストラリア初の大学として設立された大学であり、地震がないこともあって、古くからの建物が多く見受けられました。このシドニー大学にある受け入れ先の研究室では、建物内の熱の流れといった研究からブルームといった基礎研究まで熱流体に関する研究が盛んに行われています。特に数値シミュレーションによる研究に力を入れており、本インターンシップでは自然対流に関する数値シミュレーションについて学びました。

本インターンシップでは、研究室の方々と議論しながら自然対流に関する数値シミュレーションを行いました。本インターンシップで得られた数値シミュレーションの結果を、帰国後、実験結果と合わせることで研究を進めていきたいと考えています。所属研究室では実験を主に行う自分にとって、異なった研究手法を用いている方々と議論し、意見を聞くことができたことは大変有意義であったと感じています。

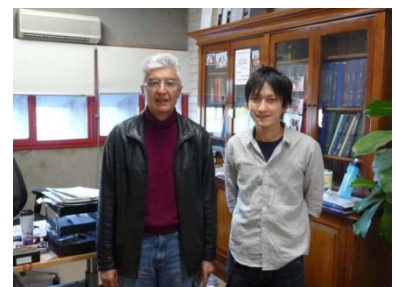
海外で約1ヶ月半もの間、1人で生活することは初めてであったこともあり、不安もありました。しかし、海外の研究室の雰囲気を味わうことができたことやその研究室の方々の研究に対する考え方に触れることができたこと、さらには海外での1人での生活は非常に貴重な経験となりました。このような機会を与えて下さったGCOE関係者の皆様、受け入れ先研究室のMasud Behnia教授、指導教員である圓山重直教授をはじめ、本インターンシップでお世話になった方々に深く感謝いたします。



シドニー大学キャンパス内の建物



研究室での仕事の様子



Prof. Masud Behnia と



Dr. Srinarayana Nagarathinam と